

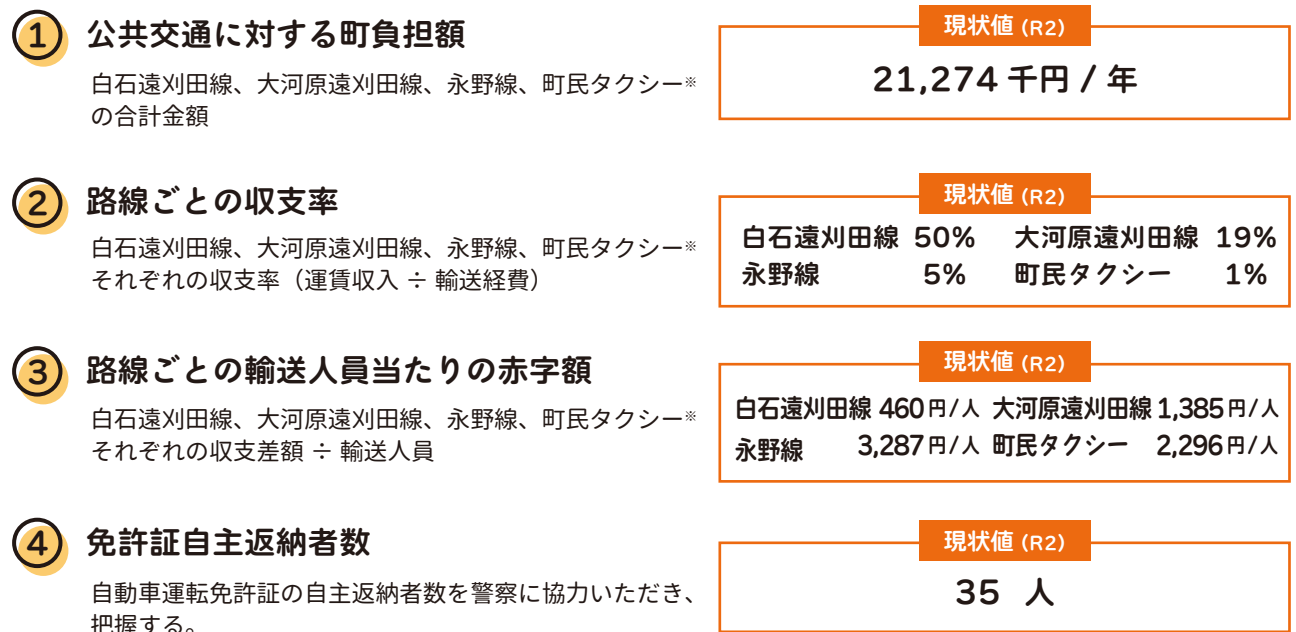
目標と指標

計画の取り組みの実施状況とその効果を誰もが分かりやすく把握できるように、目標指標とモニタリング指標を設定しました。

目標指標



モニタリング指標



※予約応答型が新設されれば加える

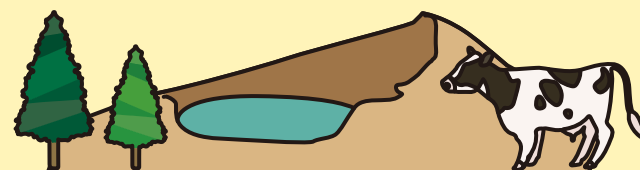
推進体制

本計画を進めるにあたっては、地域公共交通活性化協議会（公共交通会議）を軸としながら、「町」「交通事業者」「町民」「関連企業・団体等」が計画の目標達成に向けて連携・協力して取り組んでいきます。



蔵王町地域公共交通計画

— 令和 4 ～ 8 年度 —



蔵王町では路線バスに対する運行支援を行っているほか、交通不便地域では路線バスの委託運行やタクシー車両を活用した町民タクシーの運行にも取り組んできました。しかし、人口減少や高齢化の進展等により交通不便を感じる地域が広がっており、利用者数が減少するとともに、町の財政負担も増加しています。このような状況を踏まえ、町民の暮らしの足を将来にわたり維持するとともに、町の活力につながる新しい公共交通ネットワークを実現することを目的として、本計画を策定しました。

目指すまちの姿と基本方針

公共交通に対する町民のニーズや暮らしの現状調査の結果と、上位計画や関連計画で目指している町と公共交通の方向性を踏まえ、本計画において目指す町の姿と、それを実現するにあたっての3つの基本方針を定めました。

目指すまちの姿

みんながずっと住み続けたいと思う快適なまち

基本方針 1

『健やかなまち』につながる移動の基盤をつくる

基本方針 2

『美しい快適まち』につながる持続的な交通網をつくる

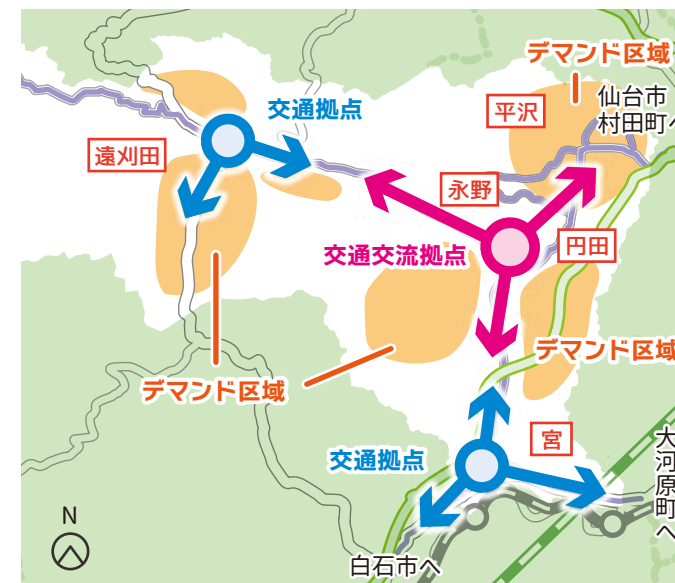
基本方針 3

『活気あるまち』につながる利用しやすくなる交通をつくる

目指す公共交通の姿

「**交通交流拠点**」と「**交通拠点**」の2つの拠点を設定し、町外への移動も効率的かつ持続的に実現するネットワークを構築します。「**交通交流拠点**」は乗り継ぎ機能だけでなく、滞留機能も備えた拠点とし、まちのにぎわいを創出することを目指し、「**交通拠点**」は乗継機能を充実させることで、路線の効率化を高めるとともに、乗り継ぎ割引等も付加させることによって利用者にとっての利便性を高めることを目指します。

また、交通不便地域においては、タクシーを活用した**予約応答型（デマンド型）乗合タクシー**等を導入し、マイカーからの乗り換えを促進することで、安心して住み続けられる環境を整えます。



目指す公共交通の姿



課題

基本方針

戦略と事業案

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度

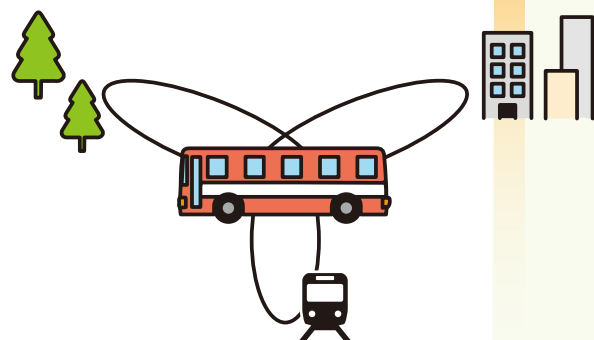
基本方針1

『健やかなまち』につながる移動の基盤をつくる



基本方針2

『美しい快適まち』につながる持続的な交通網をつくる



基本方針3

『活気あるまち』につながる利用したくなる交通をつくる



【戦略1】交通不便地域の解消による町内交通の充実

事業1

乗合タクシーの見直しと予約応答型の導入

- 町民タクシーの区域運行化
- 交通不便地域における予約応答型(デマンド)乗合タクシーの導入

事業2

タクシー利用補助との連携

- タクシー利用補助の効果検証
- 事業の見直し

事業3

病院送迎バスやスクールバスとの連携

- 病院バスの運行見直し
- 令和9年度以降の統合中学校スクールバスの運行計画策定

【戦略2】公共交通ネットワーク性の強化と広域移動の向上

事業4

バス路線ネットワークの見直し

- 永野線の減便(予約応答型へ)
- 大河原遠刈田線の宮小学校前系統を永野まで延伸の検討
- 白石遠刈田線のダイヤ見直しと東白石駅経由の検討

事業5

交通拠点の整備と乗継機能強化

- 乗継拠点としてございんホールの整備
- 乗継割引の導入

事業6

公共交通企画券の開発

- 半日、1日乗り放題券の導入
- 複数の交通モードの共通乗車券の導入
- 高校通学支援策の検討

【戦略3】だれでも利用しやすい環境整備と利用促進

事業7

交通に関する分かりやすい情報発信(インターネット活用)と普及

- 路線図・時刻表の作成と配布
- インターネットでの総合的情報発信や提供

事業8

運転免許証返納後の移動不便さの低減

- 出前講座やバスの乗り方講座の開催
- 乗合タクシー体験乗車会の開催
- 公共交通お試し券の発行

事業9

電子マネーと観光 MaaS*の導入環境整備

- 電子マネーの利用環境整備
- 宿泊や観光サービスの一体的情報提供やパッケージの企画販売

交通空白地、不便地域があり、解消していく必要がある。

タクシーを利用できる環境を維持する必要がある。

町内に乗継拠点を整備し、公共交通の効率性を向上させる必要がある

町民の暮らしとニーズに合ったバス路線網の見直しが必要である。

自動車運転免許証を返納しても移動に不便や不安を感じない環境づくりが必要である。

公共交通への電子マネーやMaaSの導入を進め、観光振興による地域活性化に寄与する必要がある。

*MaaSとは、鉄道やバスなどの公共交通機関とレンタカー等の移動サービスを組み合わせて、その検索・予約・決済等をワンストップで行えるサービス。「観光 MaaS」は、より観光客等の来訪者が使いやすくしたサービスを指す。

